

園芸の技、連続で最優秀

玉村の田中さん 国内最大規模の展示会で

自宅の庭で寄せ植えを教えている主婦が、国内最大規模の花やガーデニングの展示会のコンテストで、部門では2番目となる最優秀賞を2年連続で受賞した。玉村町上之手の田中敏子さん。「群馬の花苗の質の高さをアピールできました」。作品に群馬産を盛り込むこだわりが実を結んだ。



今年中旬、西武プリンスドーム（埼玉）で開かれた「第17回国際バラとガーデニングショウ」。田中さんは、植物を植えた鉢をつるして楽しむ「ハンギングバスケット」の吊り部門に出品した。

受賞作「グリーンシャワー」は花苗など約20種を使い、うち8割が県産。ピンクと白のペチュニアに、つたのヘデラなどのグリーンを合わせた。最大の特徴はモミジの存在。枝の見えない部分にワイヤで「一曲」をかけ、ふんわりとした外観に溶け込ませた。田中さんは「ハンギングバスケットは洋のもの。和の植物を合わせた斬新さが評価されたのでは」と推測する。嫁ぎ先に並ぶ義父の盆栽の水やりを任せられ、通いの植木屋さんから学んでいるなどの技術を学んだ経験が生きた。



①「コンテナガーデニング・マスター」の資格を持つ田中敏子さん。「もう来年のコンテストに向けてアイデアを練っています」②玉村町上之手③最優秀賞を受けた「グリーンシャワー」（田中敏子さん提供）

ハンギングバスケット 県産の花苗こだわり

を見て衝撃を受けた。「こういう世界があるなんて……」。数種類の花や緑を一つの鉢に植え込む新鮮さと華やかさに憧れた。義母が他界し、喪失感から何も手につかない日々が続く中、知人からハンギングバスケット講座に誘われ、夢中になった。「カトレアやバラを愛した義母に導かれたのかもかもしれません」

近隣の園芸店に誘われて様々なコンテストに出品、受賞を重ねた。昨年の第16回の展示会では、大雪に見舞われて窮地に立った昭和村や藤岡市のナーセリー（植物栽培園）から買い取った花苗を使って出品し、最優秀賞を受賞した。

自宅の庭で開いている寄せ植えの教室の休憩時間には、悩みをぼろりと漏らす参加者もいる。田中さんは「花や緑は生きる力を与えてくれる」という。「植物に向き合っていると、いつの間にか無になる。ここは人生のギアをニュートラルにする場でありたい」と思い定めている。

（馬場由美子）

新社長に北村氏

上毛新聞社

上毛新聞社は22日の取締役会で、新社長に北村幸雄副社長（67）を昇格させる人事を決めた。渡辺幸男社長（71）は代表権のある会長に就任する。6月9日付。北村氏は1970年3月に明大卒、同年に入社。編集局長、広告局長、総務局長、編集主幹・論説担当などを経て2012年から副社長に就任していた。

小渕氏の不起訴

「不服」と検審に

市民オンブズマン群馬 小渕慶子・前経済産業相の関係政治団体をめぐる不透明な資金処理事件で、市民オンブズマン群馬は、小渕氏への不起訴処分（嫌疑不十分）が不服として、検察審査会の審査を申し立てる方針を決めた。

市民オンブズマン群馬の

30人程度学級拡充

小中教員独自採用

へも導入したい考えだ。

市教育委員会によると、

すべての市立小中学校で30

人程度学級を実現するため

には、少なくとも十数人の

町村立学校職員給与負担

法は06年に改められ、独

自に少人数学級などを推進

できるようになった。

将が死んだと思ひ、自分も

ベスト
BESS
高崎展示場

自宅向けログハウスをはじめ、

中古カメラ売ってます。

デジタルから舶来・クラシックまで
専門店ならではの品揃え！
店内大量展示中です

小川賢代表によ
地検特捜部に書
処分の理由につ
わせたところ
分」の返事が届
代表は「理由が
い。納得がい
て、検察審査会
立てを決めた。

せたとして、十
日、太田市大原
藤田美恵容疑者
の疑いで逮捕